

会報神奈川

平成 29 年 10 月 31 日発行

発行責任者 神奈川県神道青年会 会長 小澤篤至

〒232-0006 横浜市南区南太田 2-7-29 電話 (045)731-0668



神奈川県神道青年会

会長

小澤 篤至
おざわ あつし

箱根神社

先ず以て、謹んで聖寿の万歳と皇室の弥栄をお慶び申し上げます。神宮におかれましては、諸祭恙なく肅行されておられますこと慶賀に存じます。

さて、神奈川県神道青年会第二十六代会長を仰せつかり早半年が経過致しました。月日を追うごとに、その重責を切に感じ、より一層身の引き締まる思いでございます。会員と共に心一つに、今成すべき事を見極め実践し、責務を全うすべく専心努力致す所存でございます。

畏くも今上陛下の御譲位に關しましては、「天皇の退位等に関する皇室典範特例法」が去る六月九日に成立、六月十六日に公布されました。二百年ほど前の先例以来、今を生きる誰一人として経験のない御譲位による御代替わりとなります。皇室の伝統が正しく継承されるよう注視するとともに、時宜を得た活動が展開できるよう努めて参りたいと存じます。

今期は、先輩諸賢が残して来られた足跡を踏まえながら、当会の更なる充実と発展を期すべく、新役員と共に存分に協議共有を図る事に主眼を置き、会務の運営を進めております。

今夏には、例年の事業に加え『会員家族親睦キャンプ』を開催致しました。燃え上るキャンプファイヤーを背に「将来の夢は神職」と宣言した頼もしい少女。就寝間際の動物達も目を覚ます程の大声で、嫌いな食べ物は「グー」

「ヤッ!」と叫んだヤンチャな少年。自慢のキックボードの上でしか寝ないと豪語した少年。賑やかに和やかに会員家族、特に願っていた、近い将来当会での活躍を期待する子供達との交流が叶いました。

今後も、当会の諸事業がより良きものとなるよう「小さな大事」をひとつひとつ積み重ねて参りたく存じます。

結びに、我々青年神職が青年会活動に邁進できますのも、神奈川県神社庁をはじめ県内宮司様、先輩諸賢より戴く深いご理解と温かいご支援の賜物と衷心より感謝申し上げますと共に、尚一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。



会員家族親睦キャンプ



神奈川県神道青年会


<http://www.k-jinja.jp/seinenkai/>

就任挨拶



副会長

ひらおかよしあき

平岡好晃

杉山神社

謹んで聖寿の萬歳と皇室の弥栄をお慶び申し上げます。また神宮におかれましては諸祭恙なく肅行されておりますこと慶賀に存じます。

さて、古本前会長から小澤会長へと棒が繋がれた今期、引き続きIT事業推進部・広報部担当副会長を仰せつかりました。早川・池田両部長と連携し、益々当会に関心を抱いて頂けるような情報を、ホームページ・フェイスブック並びに会報を通じてお伝え出来ればと考えております。

また、残り二年となりました自身の青年会活動において、先輩諸賢から受け継がれた思いを守るべく、最年長の副会長として守屋・山本両副会長を始め各局各部と連携を密にし、相談役や監事、アドバイザーのご助言を戴きながら小澤会長をしつかりと支えていく所存であります。

会員各位の積極的なご参画、ご協力の程宜しくお願い致します。



副会長

もりやたかひろ

守屋隆広

森戸大明神

五月二十九日に当会定例総会を迎え、愈々小澤会長長期の二年間が始まりました。副会長を拝命した私は、元より浅学非才の身であります。共に歩んでくれる会員の皆様のお力を頂き、そして当県神社庁並びに多くの先輩方にご指導を仰ぎながら、小澤会長の支えとなるよう尽力して参ります。

さて、担当させて頂く事となりました。渉外部・親睦部は、何の心配もいらない頼もしい小峰部長・松尾部長が率いてくれる事となりました。

渉外部では、当会佐野監事が神道青年全国協議会の会長として職務に邁進している姿をしつかりと見据えながら、今まで以上に神青協はじめ一七協・各関係団体と連携を取り有意義な活動を展開して参ります。親睦部においては、県内だけでなく地区・単位会の垣根を越えた活動や家族同士の懇親の場なども増えてきております。渉外部とも連携しながら、益々青年神職同士の絆が強くなるよう活発な活動を行って参ります。

また、天皇陛下御即位三十年の奉祝、御譲位など斯界挙げての活動が様々行われる事予想されるこの二年間、動

向をしつかりと注視しながら、斯界の尖兵としての役割を担えるよう未来に向けての事業を展開して参りますので、会員の皆様の更なるご理解とご協力を頂きますようお願い申し上げます。



副会長

やまもと のぶみち

山本喜道

日枝神社

この度、教養部、企画部、事業部の三部会を担当する副会長の職を仰せつかり、その重責に身の引き締まる思いでございます。

教養部と企画部は神職としての意識を向上するべく様々な研修会を考えております。教養部では、祭式研修や禊錬成、時宜に応じた研修を催し、企画部では、稲作体験事業を中心に青少年の育成と文化の継承を図るべく企画して参ります。多くの会員の参加をお願い致します。

また事業部では、まずは既存の事業品の魅力をより一層伝えるべく広告の見直しを図り、新規事業品の開発を進めて参ります。

私自身は力不足で至らぬ点もございますが、平岡副会長、守屋副会長と共に小澤会長を精一杯支えて参りますので、ご指導ご鞭撻を宜しくお願い致します。

神奈川県神社庁御用達

株式会社

クレックス

代表取締役 近藤 榮人

〒194-0014 東京都町田市高ヶ坂六十八-1-10番地
電話 〇四二-七八八-八四一(代)
FAX 〇四二-七三三-三五六三



〈営業品目〉 ●交通安全御守護
●開運招福鈴
●文鎮 金盃
●各種記念品類
●胸像・レリーフ・铸造類

鈴木徽章工芸株式会社

〒113-0032 東京都文京区弥生2-12-1
TEL 03-3814-1811 FAX 03-3818-8332
E-mail: info@suzuki-kisho.co.jp
http://www.suzuki-kisho.co.jp



総務局 局長
かわべ こうじ
川辺浩司
天神社

総務局は局長、局員二名の計三名で構成され、時局対策問題をはじめ、震災復興支援、震災対策に関する事業を展開して参ります。

総務局で扱われる事業は、その事業の一つ一つの成果に注目することも大切かと思いますが、「次期への継続性」を考慮した長期的な視点が必要な事業もあります。そして各事業を行う上で、何よりも多方面からの情報収集は必要不可欠です。神奈川県神社庁をはじめ関係各所との連携をはかりながら、多くの方々のご意見を集約し、慎重に各事業を進めて参ります。

また、各単位会との情報の共有や、会員相互に波及性のある情報の発信も模索して参りたいと思います。

前期から新たな役割を担うことになりました総務局ですが、小澤会長の下、各部署とも連携を取り充実した事業が行えるよう努めて参りますので、ご指導・鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



事務局 局長
さの けんじ
佐野顕次
杉山神社

今期事務局を務めさせて頂く事となりました。

会務を円滑に運営する為、また充実した事業を展開していく為にも、各部署と密に連携を図り協力していきたいと思っています。そして、会議では各自の意見が盛んに交換される議論の場となり、役員から若手会員まで皆の思いを集約し、青年神職らしい明るく活発な会を作っていくよう努めて参りたいと思います。

また、一緒に事務局を務めて頂く小泉匡史君に神青協 一都七県協議会の事務局も併せ務めて頂く事となりました。佐野監事が会長を務める神青協、そして神青協 一都七県協議会、各単位会ともしっかりと連携をして情報を共有し、皆で様々な事業に参画できるよう努めて参ります。

前期会計局から引き続き佐野、小泉コンビでしっかりとタッグを組み、事務局として微力ながら会の一翼を担って参ります。会員各位の積極的なご参加と、多くの皆様からのご協力とご指導をよろしくお願い致します。



会計局 局長
しむら ゆきやす
志村幸弥
琴平神社

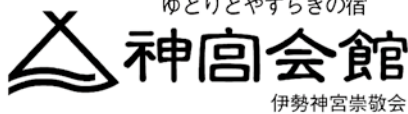
この度会計局長を拝命致しました。会計局は前期三名にて構成されておりましたが、今期は通常の体制に戻り局長の二名で構成されます。

今期は恒例事業の充実発展を図るべく、各部署が積極的に事業を展開して参ります。財務を正確且つ、滞りなく管理処理し、活発な会務運営の支えとなるよう尽力して参ります。不慣れな点も多々ありますが、二年間どうぞよろしくお願い致します。

内宮に一番近い宿

早朝参拝のご案内をしております

ゆとりとやすらぎの宿



伊勢神宮崇敬会

ー ご宿泊に関するお問い合わせ ー

〒516-0025 伊勢市宇治中之切町152

TEL.0596-22-0001/FAX.0596-22-1517

<http://www.jingukaikan.jp>

大切なイメージを
カタチにします。

オリジナルグッズ・記念品



KOWA DISPLAY CO., INC.

株式会社 晃和ディスプレイ

東京都目黒区目黒本町3-13-10 〒152-0002

TEL: 03-3792-0211 FAX: 03-3792-0925

ホームページ <http://www.kowa-dsp.co.jp/>

御装束・御社殿装飾調度・祭器具
家庭用御宮各種・授与品・記念品

(株) 高善装束店

代表取締役 桑 茂雄

〒113-0021 東京都文京区本駒込 3-2-9

TEL 03(5815)8771

FAX 03(5815)8772



I.T事業推進部部長
はやかわたかゆき
早川 誉幸
天神社

I.T事業推進部の主な活動は、青年会のインターネット、ホームページの管理運営です。当会の様々な活動の報告や紹介、フェイスブックと連動させることで、より早い情報発信を心掛けております。

また、神社をより身近なものに感じて戴けるよう、ご協賛を戴いております。県内神社の紹介ページの内容充実に努めております。

本年度は会員のメーリングリストの管理も行うこととなりました。メーリングリストの漏れのないよう徹底し、会員全員にいち早く情報が行きわたるようにすることで、より迅速に情報を共有することができるようではないかと考えております。

また、定期的に部会を行い、より良いホームページの構築はもとより、時代に即した新たな企画を副部長と共に模索して参りたいと思います。

慣れない作業に多少の困惑を感じておりますが、精一杯頑張つて参りますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



親睦部部長
まつおひろかず
松尾 寛一
熊野神社

この度、昨期より引き続き二期目の親睦部部長を務めさせて頂くこととなりました。

この親睦部は古くから先輩諸兄がとても大切にされてきた伝統ある部であり、今期は守屋担当副会長の下、一〇名の副部長と共に、新年会・忘年会といった恒例行事を始め、キャンプなどの各種親睦事業も企画し、今年度活動方針の一つである「会員家族の交流を図り、世代を超えた親睦を深める事業」を展開できるよう尽力して参ります。

これらの親睦事業を通して、会員各位が絆を深めることで、当会全体の運営はよりスムーズになり、各事業が益々充実していくものと考えております。当会の活力となりますよう努めて参ります。

至らぬ点は多々ございますが、参加される会員皆様が楽しく有意義な時間を過ごし、交流の一助となればと様々な行事を開催して参ります。積極的なご参加とご協力の程、宜しくお願い申し上げます。



教養部部長
よしいよしみち
吉井 良迪
鶴岡八幡宮

この度、教養部部長という大役を仰せつかり、身も心も引き締まる思いが致します。

教養部では担当の山本副会長をはじめ、七名の副部長と共に活動をしております。

当部の活動は青年神職としての教養を深めるべく祭式・禊祓成の研修事業を柱に企画・運営し、皆様にとつて魅力ある事業を開催できるよう努めております。

今期は歴代の諸先輩方の精神を引き継ぎつつ、皆様の今後の糧となり、神職の資質を高められるような神奈川県神道青年会らしい独自性のある研修会を企画していきたいと考えております。皆様方からの忌憚のないご意見をたくさん頂けましたら幸いです。

私自身、浅学非才の身でございますが、精一杯務めさせていただきます。微力ながら会の活動の一助になれるように努力する所存でございます。

会員皆様方の積極的なご参加ご協力を賜りますよう宜しくお願い致します。

誠実奉仕、信用第一

神社本庁 御用達
國學院大學 推薦店
明治神宮 指定店

瀬戸装束店

〔営業品目〕

●神職御装束 ●神楽装束 ●神社調度
●祭器具のすべて ●神前結婚式場神殿設備

東京都中野区中野3丁目10番5号 取引銀行 三菱東京UFJ銀行中野駅前支店
〒164-0001 電話 03-3381-4927 普通預金No.0359145
FAX 03-3381-4927 郵便振替口座 00120-7-557201

”土佐絵自由自在”「既製サイズで我慢・・・」の時代は終りました。
土佐絵で作る神具木工品は

森の道具屋

〒781-2120 高知県吾川郡いの町枝川177-3

TEL 088-850-4087 FAX 088-850-4076

URL <http://www.morinodouguya.ecweb.jp>

E-mail morinodouguya@titan.ocn.ne.jp



事業部 部長
みずたに ゆうや
水谷祐也

寒川神社

今期より事業部の部長を仰せつかり、務めさせて頂くことになりました。歴代部長の諸先輩方が行ってきた事業、培ってきた経験を踏襲しつつ、一生懸命励んで参ります。

山本副会長の下、副部長九名と共に社務の一助となる新たな事業頒布品の開発や購入検討の為の見やすい会報事業品紹介ページの作成等、活発に事業を展開していく所存です。

また、当会の事業部は長年の経験と実績があります。白衣や足袋等の身の周りのものから社頭に華やかさをもたらす朱傘等、優れた多種多様にわたる頒布品を取り扱っており、県内はもろんのこと、県外の神社からも数多くのご注文を頂いております。頒布の促進や管理・開発に努め、多くの皆様のお力になれるような事業部を目指して参ります。

最後になりましたが、浅学非才の私でございますので、皆様の温かいご指導・鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。



渉外部 部長
こみね けんじ
小峰敏風

伊勢山皇大神宮

渉外部では神道青年全国協議会及び神青協一都七県協議会主催の各種事業への参加、賛助会員交歓会・顧問会の開催や、友好諸団体との交流を通じ、当会の存在を広める役割を担っております。

近年、神青協事業を通じて他県青年神職との交流が進み、有意義な合同事業が展開されています。さらに今期は佐野監事が神道青年全国協議会会長に就任され、当会の役割は益々大きくなっているものと感じております。

また、諸先輩方との関係をより広く構築するために賛助会員の拡充に努めております。

多くの会員が、これまで当会を築き上げてこられた諸先輩方との交流を深め、想いを共有できるよう、そして、県内事業に留まらず多くの事業に参加し、他県青年神職と今しか出来ない経験を得ることができるよう、会員・賛助・他単位会のパイプ役として努力して参りますので、ご協力をお願い申し上げます。



企画部 部長
めぐろ けんじ
目黒久仁彦

大山阿夫利神社

この度、企画部部長を拝命し、奮励努力する所存でございます。

企画部では主に、当会御神田において稲作の体験事業を行っております。本事業は、我々神職自らが米作りを体験し、御田植祭など稲作に関わる祭祀の意義を再確認すると共に、子供達にも稲作体験を通じ、自然の恵みの尊さ、感謝の心を育んで頂くべく開催致しております。今後も多くの方々にご参加頂けるよう企画運営して参りたいと存じます。

六月には子供達を始め多くの方々にご参画頂き、無事に田植えを終えました。その際に見た子供達の笑顔が、企画部を担う上で私の大きな原動力になっております。今後も子供達が随神の道に触れ、日本の心を解する事が出来るような企画を計って参りたいと考えております。

神職としても当会会員としてもまだまだ日が浅く、未熟な私ではございますが諸先輩方の思いを引き継ぎ、小澤会長の下、努力精進を致す所存でございますので、ご指導・鞭撻の程をよろしくお願い申し上げます。



広報部 部長
いけだ なつと
池田奈津江

弥生神社

広報部では年に二回の会報の製作・発行が主要な活動です。企画から編集まで、広報部内および会員によるアイデア交換や議論を重ねて、会報製作が諸活動と同様、当会の活性化につながるよう努めて参ります。

また、IT事業推進部と連携しながら会報のオンラインでの公開、各所への配布により、当会の幅広い活動を伝えて参ります。その先で当会の活力やネットワークの可能性を神道界の外部や次世代の方々にも感じていただけるように、「広報」が繋がりと連携を生む役割を果たせるよう、広報部の皆で思考し実践して参ります。

東日本大震災より六年半が経ち、その後も毎年のように各地で発生する災害に我々神職ができること、備えるべきことを共に考え提起し、実践していくことが、青年神職の重要な課題であり責務だと感じております。その中で広報部の役割を模索して参ります。

会報の発行に多大なご支援をいただいております神社関係者の皆様、協賛会社の皆様への感謝の気持ちを紙面に込めながら、二年間よりよい会報の製作に努めて参ります。



神奈川県神道青年会第十七代会長

八幡大神 禰宜 小泉 浩之

「輝き」

神奈川県神道青年会現役会員の皆様のご活躍に敬意を表し、まずもって感謝申し上げます。青年会を引退してすでに十五年ほどが過ぎようとしています。自分の現役時代を振り返ると、現在の会員諸氏の活躍には目をみはるばかりで感服しております。脈々と受け継がれた伝統を守りながら新たな取り組みに向かって邁進する姿は、若さのなせる業だと思えます。

私の青年会での大きな思い出は、沖縄県摩文仁の丘で行った戦没者慰霊祭です。摩文仁の丘より眼下に望んだ大海原の輝きは未だに脳裏に焼き付いています。ただ太陽の光を反射して輝いているだけでなく、その輝きの下には国の為、家族の為に屍の礎を累々と築き散っていった英霊達の魂の輝きを全身に感じました。龍山正道大先輩の願いであった沖縄での戦没者慰霊祭を行えたことの喜びも相まって、私自身も青年会活動の中で最高に輝いていた瞬間だと感じています。

今、世界はたった一つの国の暴挙によって大きな転機を迎えようとしています。その中で日本は何をすべきか、国民は何をすべきか真剣に考える時だと思っています。

青年神職の皆様には青年会活動を通じて、たとえ一つでも自分自身が輝けることを見つけ、最大限の輝きをもって活動していかれることを希望します。

最後になりましたが、皇室の繁栄と国家の安泰、神奈川県神道青年会の更なる活躍を心よりご祈念いたします。

神奈川 授与品 記念品 奉製

株式会社 神路社

本社 〒516-8611 三重県伊勢市岩瀬2丁目5番29号(秘書第26号)
電話番号 0596-24-5858 / FAX 0596-24-5110
E-mail info@kamijisya.co.jp

神 苑 (東日本営業所)
〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1丁目26番14号 ACTビル4階
電話番号 03-3280-6720 / FAX 03-3280-6721
E-mail shinen@kamijisya.co.jp
http://www.kamijisya.co.jp

誠実と真心で奉仕する

御守・授与品・参拝記念品奉製

天然石厄除開運腕輪守・天然石みくじ

御一報次第カタログ御送り致します。

グリーン産商株式会社

〒547-0033 大阪市平野区平野西4丁目8番29号
TEL (06) 6702-6009 (代表) FAX 0120-34-2996



大人と子供と一緒に虫採りしたのがとても楽しかった。(かい君 5 歳)

芦ノ湖キャンプ村レイクサイドヴィラにおいて「会員家族親睦キャンプ」を開催致しました。この事業は、神奈川県神道青年会の先輩諸兄によって昭和六十年代頃より定期的に行われていた親睦部キャンプ事業に倣い、当会が今期、特に力を入れております会員家族の交流、殊に神職子弟の親睦を深め未来へと繋げる事業として企画致しました。大人二十一名(内、会員十五名)、子供十六名の総勢三十七名が集まり、初日はオリエンテーションの後にバーベキューで美味しいお肉を頬張り、キャンプファイヤーでは親子で自己紹介

8月9日～10日

会員家族親睦キャンプ

親睦部 部長 松尾寛一



をしたり花火を楽しんだりしました。二日目は、スイカ割りやシャボン玉遊び、虫カゴを持って森を探検した後、箱根園へ移動して水族館や動物園を楽しみました。

参加した子供達のエネルギーとファンタスティックな発想には、将来への期待と頼もしさを感じ、我々にとっても良い刺激となり、大人も子供も笑顔の絶えない充実した二日間でした。

今後も親睦部では、恒例事業の他に会員家族、神職子弟の交流に主眼を置いた事業を展開していきたいと考えております。奮ってご参加頂けますと幸いです。

扇風機だけで暑かった。(きおなさん 9 歳)

寝ないで遅くまで遊んだのが楽しかった。(りかさん 8 歳)



忙しい部活の良い息抜きになりました。また頑張れそうです。(すみかさん 14 歳)

みんなで花火をしたのが楽しかった。(かずや君 7 歳)



楽しかった。意外なくらい楽しかった。(よしはる君 5 歳)



平成二十九年六月三日、神奈川県神道青年会御神田において御田植えを行い、青年をはじめ一般参加者約六十名のご参加を頂きました。

苗はイセヒカリを中心に、古代米、キヌヒカリの三種を植えました。これらの苗は、御神田奉耕者である長嶋伸博様のご指導の下、青年会会員と子供たちが種まきをしたもので、大きく育った苗は御田植え当日の御田植え祭でお祓いを受け、青空の下で参加者が一束ずつ自らの手で植えていきました。

参加した子供たちは昨今、触れ合う機会



御神田だより

企画部部长

目黒久仁彦

が少なくなってしまう土と水、そして草花の感触を肌で感じながら田んぼや草むら走り回り、泥だらけになりながらも一緒に笑顔を見せ、歓声を上げながら楽しんで大人たちと共に苗を植えてくれました。

御田植えが終わった後も、子供たちからは「もっと植えたい、もっとカエルや蟹をとりたいたい」などの声も上がり、自然に対して親しみを感じてもらえたようでした。御田植えを通して家族、友人と過ごす楽しい一日となったようでもあります。

神代から連綿と伝わる稲作を通して、子供たちに神道祭祀に触れてもらいながら稲作の大切さ、自然の恵み、農家の方々のご苦労をその身で感じて、忘れがちな日々の感謝の心を養って頂ければと思います。

また今回植えられた苗は、稲刈りを経て伊勢の神宮へ懸税として、また奉献米として県下のお社へもご奉献させて頂きます。



御田植え祭



御田植え

六月三日





種まき

五月七日



イセヒカリ、古代米、キヌヒカリの三種の種を蒔きました。



五月二十八日

クロツケ作業



鍬で土を盛り固めて御神田の土手作りをしました。

御装束・御 簾・神 輿
神 祭 具 調 度
宮内庁御用達 京装束・京神具の店

有限会社 竹 重

〒600-8324 京都府京都市下京区東側町510番地

Tel 075-371-0394(代)

Fax 075-341-6966

ご注文専用フリーダイヤル 0120-37-0394



祈りをかたちに

授与品・記念品御奉製

株式会社 長谷川製作所

代表取締役 長谷川義貴

〒340-0025 埼玉県草加市谷塚仲町466-1

TEL 048-921-1221 (代表) FAX 048-921-1515

活動報告

五月二十九日

定例総会

総務局 局員 利根伸介



伊勢山皇大神宮にて平成二十九年度
神奈川県神道青年会定例総会が開催さ
れました。総会の冒頭に池田正宏宮司
様からご祝辞を賜り、議事審議では先
の臨時総会にて選任された小澤会長よ

り新役員が任命推薦され、今年度活動
方針案、事業計画案、また予算案等が
それぞれ慎重審議のもと承認されまし
た。

これまで当会の行事に参加されたこ
とが無い方も、青年神職として研鑽を
積むことのできる各研修会をはじめ気
軽に参加できる楽しい行事も多く行わ
れます。是非とも皆様のご参加を心よ
りお待ちしております。



五月二十二日

佐野巖君の神青協会会長就任を祝ふ会

相談役 古木普総

ホテル横浜ガーデンにおいて前期神
道青年全国協議会関東地区理事 小室
悠貴君を発起人代表、神青協一都七県

協議会各単位会平成二十八年度会長を
発起人として、「佐野巖君の神青協会会長
就任を祝ふ会」が各単位の同志を始
め、全国津々浦々より一三〇名の出席
を賜り、盛大に開催されました。

式典に於きましては、発起人を代表
して小室前地区理事の挨拶により開会



し、佐野神青協会会長より、今後の神青
協活動を展開するにあたっての熱い思
いと決意、御礼の挨拶、また、多くの
ご来賓の皆様にご挨拶を頂戴致しまし
た。

神奈川から初めての全国会長就任と
もあり、当会と致しましても会員一丸
となり、佐野神青協会会長を支えていく
決意が改めて強固なものになったと実
感を致しております。発起人を代表致
しまして、ご出席賜りましたご来賓の
皆様、神青協一都七県協議会、全国同
志の皆様、また、当会会員の皆様に厚
く御礼を申し上げます。

❖ 授与品全般・神具 ❖



創業安政貳年

株式会社秋江

御守袋・錦守・木札・紙札・絵馬・土鈴
おみくじ・根付・神具・御装束・記念品

〒602-0056

京都市上京区堀川通上立売下北舟橋町835

TEL 075(432)2255(代) FAX 075(441)8011

<http://www.akie-net.com>

六月十九日

親睦ボウリング大会

親睦部 副部長 伊藤直晃

ラウンドワン横浜西口店にて親睦部の恒例行事「親睦ボウリング大会」を開催致しました。



会員二十四名の参加のもと、ゲームの展開は大いに白熱し、盛り上がりました。ボウリングで汗を流した後は、会場を移して表彰式を兼ねた懇親会を行いました。

懇親会ではお酒を酌み交わしながら様々なことを語り合い、表彰式では個人とチームそれぞれの結果発表と賞品の贈呈を行い、お互いの健闘を称えました。ボウリング大会・懇親会ともに、会員相互の交流を深める場になったと思います。

親睦部では、今後も多くの事業を企画しております。会員の皆様の絆がより一層深まるような事業になるよう努めて参ります。

七月十一日

祭式研修会

教養部 副部長 小玉 聡

神奈川県神社庁において祭式研修会が行われました。講師に神奈川県神社庁祭式講師石川正人先生をお迎えし、遷座祭についてご講義を賜りました。

午前中は四月に竣工されたばかりの真新しい庁舎の御神前にて、祭式の基礎作法の確認をし、受講者一同正しい

作法の習得に努めました。

午後からは、石川先生がご奉仕される師岡熊野神社と、先般の神社庁での遷座祭の様子を記録した映像がスクリーンに映し出され、石川先生より解説を交えながらご講義頂き、普段あまり見ることのできない厳かな祭典の様子を拝見することができました。

その後、遷座祭の実技研修へと移りました。神社庁の遷座祭と同様に仮殿から典儀による召立の後、めいりだて 各々威儀物いぎぶつを手に取り列を整えました。警蹕けいひつの響く中、斎主とともに絹垣に覆われた「御」が祭員、供奉員のお供でゆつくりと厳かに神殿に進む様子が印象的でした。

奉仕する機会の少ない遷座祭についての知識を石川先生の貴重なご体験談、実技を通して理解することのできた有意義な研修会となりました。



四月二十六日

神道青年全国協議会

第六十九回定例総会

会計局 局長 志村幸弥

神社本庁大講堂に於いて神道青年全国協議会第六十九回定例総会が行われました。当会からは役員として佐野監事、代議員として小澤会長他二名、傍聴に六名と、計十名で出席を致しました。

開会式では、長友会長の御挨拶の後、御来賓の田中恆清神社本庁総長より御祝辞を賜りました。その後の表彰式では最優秀事業賞などの表彰が行われ、また平成二十八年度に中央研修会を担

当された広島県神道青年神職会に感謝状が贈られました。

審議に於いては、平成二十八年度の会務報告、決算に関する説明、監査報告が行われ、いずれも承認されました。休憩を挟み、新役員の報告が承認され、佐野新会長以下新しい役員体制による平成二十九年度の活動方針、事業計画案、一般会計予算案などが上程され、承認されました。

定例総会後、明治記念館に於いて「菊波の友垣会」が開催されました。神青協顧問、OBの先輩方や全国の単位会の方々など多くのご出席のもと、お互いの現状や今後の事業の話などがなされ、和やかに懇親を深めることが出来ました。

六月五・六日

神青協一都七県協議会総会

IT事業推進部

副部長 関根喜彦

ホテルテラスザガーデン水戸に於いて、茨城県神道青年会が主管となり第二十三回神青協一都七県協議会総会が行われました。小澤会長を始め当会会員十四名で参加して参りました。

総会では、御臨席賜りました茨城県



神社庁庁長 埴東男様を始めとする御来賓の皆様より御挨拶を頂いた後、平成二十八年度の事業報告、決算報告が承認されました。次に大野会長以下新役員が承認され、続いて平成二十九年度の事業計画、予算計画が審議可決されました。その後、各都県の神道青年会より平成二十八年度の活動報告が行われました。

議事終了後には、植草学園短期大学名誉教授・水戸史学会理事をお務めの但野正弘先生を講師に迎え「光圀公から慶喜公へ」継承された水戸の心」をテーマにご講演をいただき、なかなか学ぶ機会のない水戸史学について知識を深める事が出来ました。

講演会終了後に開催されました懇親会では、各地の仲間との再会やまた沢山の新たな出会いを得て、楽しく有意義な時間を過ごす事が出来ました。今年度は前年度よりも更に高みを目指し活動していく事を各地の会員と誓い合い、一都七県の青年神職の結束は益々強固なものとなりました。

八月三十・三十一日

神道青年全国協議会

夏期セミナー

事務局 局長 小泉匡史

神道青年全国協議会夏期セミナーが神社本庁にて開催され、当会より十名の会員が参加致しました。「日本の心を紡ぎ伝える」私たちの使命」の主題のもと、特別講演を榊子女王殿下より賜り、その後、元宮内庁掌典職掌次長の山田蓉先生、國學院大學神道文化学部准教授の藤本頼生先生をお迎えしてご講義をいただきました。

榊子女王殿下のご講演のなかで、現代の日本人について、「当たり前でない事を当たり前だと思ってしまうがゆえに感謝の気持ちをお忘れてしまっている」とのご指摘がありました。

また殿下は、「現代社会は、かつて



の日本人が持ち合わせていた、自然に従順する感性が薄れ、人間中心の生活を営んでいる。食事の際にも自然の恵みに対して『いただきます』『ごちそうさま』といった敬虔な感謝の気持ちは希薄化しつつある。科学技術の利便性は享受しつつも、物事の本質は見失われよう生活していくべきである」と、示唆に富むお言葉もいただきました。情報が氾濫した複雑な現代にあつて、我々青年神職は日本の伝統文化を正しく理解するとともに、それが次世代にも受け継がれるよう研鑽に努めていかねばなりません。将来に向けての大きな課題、そして神職の使命が何なのか、深く考えさせられる研修となりました。

五月十日

神奈川県戦没者慰霊堂大祭

企画部 副部長 新里智紀

神奈川県戦没者慰霊堂において県主催による神奈川県戦没者追悼式が行われました。慰霊堂には、現在五万八千五百五十五柱の御霊が祀られております。

午後一時より、神奈川県宗教連盟による神道、仏教、キリスト教、天理教の各宗派の垣根を越えた祭儀が執り行われました。県内神社からは齋主として神奈川県神社庁・石川正人常任理事、副齋主として同 神代春彦理事、当会より松尾親睦部部長を始め八名の会員にてご奉仕させて頂きました。慰霊祭では神道による修祓と祭詞奏上、天理教による玉串奉奠、仏教による読経、キリスト教による聖書朗読と賛美歌の斉唱が執り行われました。

今回の慰霊祭・追悼式には御遺族が約七百五十名ご参列され、皆様の前で英霊、戦災によって犠牲になられた方々の追悼並びに平和への祈り、またその決意を新たにするために厳粛に執り行われました。

このような機会を頂き、先達への感

謝の気持ちをあらためて抱くとともに、他の宗教の拝礼を間近に見る事ができ大変勉強になりました。



六月二十七日

横浜刑務所大祓

親睦部 副部長 久保嘉秀

横浜刑務所において大祓式並びに施設収容者健康祈願祭が執り行われ、齋主に皇太神宮松橋宮司、副齋主に水神社中村宮司、祭員に杉山神社寶積宮司、春日神社今村禰宜以下、当会より中村、浦田、新里、久保の四名、伊勢山皇大神宮の巫女二名により奉仕しました。

当日は約百名の受刑者が参列し、大祓



式では人形に参列者の罪穢れを託したのち大祓詞が奏上され、八針神事により祓い清められました。続く健康祈願祭では、収容者代表にあわせて参列者が玉串奉奠での拝礼を行い、健康を祈念しました。

当日の参列は、収容者全員ではなく個人の意思によるため、参列者の姿には真剣さを感じられ、祭典後の寶積宮司による訓話に熱心に耳を傾けている姿からも、この祭典への関心の高さが感じられました。

また、教誨師としてもご活躍されている神職の方々と一緒にご奉仕ができて、とても貴重な経験をさせて頂きました。

八月二十一日

東京都・福島県神道青年会合同事業

夏の野外懇親会

副会長 守屋隆広



鎌倉市の材木座海岸において東京都神道青年会、福島県神道青年会、当会の三単位会合同による家族も交えた「夏の野外懇親会」が開催されました。

当日は夏らしい陽射しを感じる天気にも恵まれ、総勢八十余名の参加がありました。午前中は各々に夏の海を満喫し、午後からは、お待ちかねのバーベキューが行われました。大人も子供も美味しいお肉にかぶりつき、お腹を満たした後は、再び海での楽しい時間を過ごしました。

当日、東京都神道青年会「釣りクラブ」の皆さんが、子供たちの為にと早朝から釣りに出かけ、たくさん生きた魚やカニを水槽やプールにご用意して下さり、子供たちは恐る恐る手を伸ばしながらカニと触れ合ったり、「キャツキャツ」と声を上げて魚を手で捕まえようとするなど貴重な体験の中で笑顔が溢れました。

地区・単位会の垣根を超えて楽しい時間を共有することで仲間の輪が広がり、より絆が強まる貴重な時間を過ごすことができました。

東京都、福島県の青年会の皆様にお世話になり、ありがとうございました。



復興支援事業 古着Tシャツ送付

総務局 局長 川辺浩司



す。古着Tシャツからは布草履をはじめ、コースターや鍋敷きといった小物が作られ、各地のイベントや全国から発注を受けて販売されています。

東日本大震災から数年が経過しましたが、被災地の復興はまだ道半ばです。継続的な復興支援を行うため、今後とも皆様のご協力をお願いします。

※「一般社団法人コミュニティスペースうみねこ」ホームページ
<https://www.onagawa-umineko.com/>



「ゆめハウス」にて 平成 29 年 4 月 撮影



平成二十九年七月、宮城県牡鹿郡女川町高白浜の「ゆめハウス」へ、復興支援事業の一環として古着Tシャツをお送りしました。この度の支援において、古着Tシャツの収集にご協力頂きました皆様にご感謝申し上げます。

「ゆめハウス」は、「一般社団法人コミュニティスペースうみねこ」が運営するカフェ兼コミュニティスペースの名称です。「ゆめハウス」は東日本大震災の津波に耐えた納屋を改装し、みんなの活動と語り合いの拠点として生まれ、現在でもワークショップやお菓子教室等様々な活動が行われています。

神奈川県神道青年会組織図



平成 29 年度前期活動報告

4 月

* (於)

- 19 日 第 1 回拡大役員会 (伊勢山皇大神宮)
 21 神青協一都七県協議会第 1 回定例会 (神社本庁)
 25 総会案内発送作業 (杉山神社)
 25 神社庁神殿遷座祭奉仕 (神奈川県神社庁)
 26 神青協第 69 回定例会総会 (神社本庁)
 28 神政連東京都・神奈川県本部合同靖国神社研修
 (靖国神社)
 29 憲法施行 70 年憲法改正は新たなステージへ!
 神奈川県民集会 (横浜市開港記念会館)

5 月

- 7 日 種まき (御神田)
 10 神奈川県戦没者慰霊堂大祭奉仕
 (神奈川県戦没者慰霊堂)
 11 第 2 回拡大役員会 (日枝神社)
 16 神奈川県女子神職会祝詞研修会
 (寒川神社参集殿)
 22 佐野巖君の神青協会長就任を祝う会
 (ホテル横浜ガーデン)
 29 平成 29 年度定例総会 (伊勢山皇大神宮)

6 月

- 3 日 お田植え (御神田)
 3 神奈川県神輿保存会 道場祭 (横浜)
 5 第 23 回神青協一都七県協議会総会
 (ホテル・テラス・ザ・ガーデン水戸)
 6 神青協一都七県協議会 懇親芝球会
 (浅見カントリー倶楽部)

- 19 親睦ボウリング大会 (横浜)
 22 第 3 回拡大役員会 (稲毛神社)
 27 横浜刑務所大赦並び施設収容者健康祈願祭奉仕
 (横浜刑務所)
 28 兵庫県神道青年会再建 50 周年記念大会
 (ANA クラウンプラザホテル)

7 月

- 11 日 祭式研修会 (神奈川県神社庁)
 16 東日本大震災慰霊鎮魂ならびに復興祈願千度大赦
 (アクアマリン福島)
 20 第 4 回拡大役員会 (白旗神社)
 20 北方領土返還要求運動神奈川県民会議総会
 (ワークピア横浜)
 24-25 神奈川県神社庁書道展絵画展助勢
 (新都市プラザ)

8 月

- 9-10 会員家族親睦キャンプ
 (芦ノ湖キャンプ村レイクサイドヴィラ)
 18 神青協一都七県協議会第 2 回定例会 (神社本庁)
 18 神奈川県神社庁書道展絵画展表彰式助勢
 (杉田劇場)
 21 東京都神道青年会・福島県神道青年会・神奈川県
 神道青年会合同事業夏の野外懇親会
 (鎌倉市材木座海岸)
 23 草刈り (御神田)

9 月

- 11 日 第 5 回拡大役員会 (伊勢山皇大神宮)

退会会員

琴平神社 星野貴志氏
 報徳二宮神社 勝俣由香菜氏

◇逝去

当会第四代会長
 貴船神社名誉宮司 平井敏正様
 十月十二日逝去 (享年九十一歳)



◇子供誕生

新井賢 教養部副部長
 長男 悠平くん
 五月三十一日生まれ



慶弔報告

新入会員紹介



寒川神社
ほたけけんいち
穂高賢一

昭和六十三年五月七日生まれ。出身地は長野県です。座右の銘は「一期一会」。趣味と特技は、映画鑑賞、自転車です。本年度より神奈川県神道青年会に入会させていただきました。まだまだ未熟では御座いますが、皆様の温かいご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



寒川神社
こんのともや
今野僚也

平成二年三月十二日生まれ。本年より寒川神社の権禰宜としてご奉仕させていただきたく事となりました。「厳し鉦中取持ちの言の葉は神にぞ捧ぐ我が命なりけれ」です。この寒川神社に伝わる詠を神明奉仕の礎として邁進していく所存です。皆さまのご指導ご鞭撻の程をよろしくお願い致します。



寒川神社
なかむらあきひろ
中村陽宏

平成三年十二月二十一日生まれ。出身は山梨県です。平成二十六年に皇学館大学を卒業し、寒川神社に奉職致しました。今年度より神道青年会に参加させていただくことになりましたが、今後は青年会の、益々の発展に微力ながら貢献できますよう精進して参りたく存じます。皆様にはどうぞご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。



寒川神社
えざわめぐみ
江沢 恵

平成元年四月十六生まれ。趣味は読書と映画鑑賞（ホラーを除く）、座右の銘は「継続は力なり」です。出身は大阪で、好きな食べ物はその焼き、ネギ焼き、ネパールカレー（ほうれん草ベースト）です。本年度新たに神道青年会会員となりました。宜しくお願致します。



神奈川県神社庁
かたおかこうや
片岡昂也

平成六年九月八日生まれ。本年四月より神奈川県神社庁に奉職いたしました片岡昂也と申します。趣味は釣りとおかけすると思いますが精一杯がんばりますのでご指導のほど宜しくお願い申し上げます。



貴船神社
ひらいのりゆき
平井倫行

昭和六十一年三月九日生まれ。新たに神道青年会に加えていただきました平井倫行と申します。皆様のご指導ご鞭撻をたまわり、研鑽を積んで参りたく存じます。真鶴町の文化財審議委員として、最近では郷土の歴史や民話などを調べることに興味が高まりました。どうぞ宜しくお願い申し上げます。趣味はジョギング、好きな言葉は「以文会友」です。

社頭授与品専門奉製所

(主要奉製品意匠権所有に付、侵害厳禁)

常陸神宝(株)

〒310-0902 水戸市波里町 835-1

☎ (水戸) 029 (227) 0511 総
FAX (水戸) 029 (227) 0512

繊細な技術と日本の伝統を今に継ぐ
授與品の奉製

古都 奈良の

株式会社 **大和奉神堂**

〒630-8434 奈良市山町782番地

TEL 0742-62-3235(代)

FAX 0742-62-3228

E-mail: hoshindo782@yahoo.co.jp

HomePage: <http://www.yamato-hoshindo.com/>

平成三年一月二十六日生まれ。本年度に資格を取り神職となりました。趣味は読書や洋画鑑賞などで、読書は推理物を、洋画は家族愛を主題にしたものをよく観ます。社家ではなく一般家庭出身なのでまだ未熟なことも多く、皆様にご迷惑をおかけしてしまうと思いますが、ご指導の程よろしくお願い致します。



杉山神社
あつきゆうき
厚木優樹

平成三年二月九日生まれ。出身地は神奈川県横浜市です。愛称は邊ちゃん、俊ちゃん、座右の銘は「二期一会」です。好きな事は、お神輿です。本年四月より権禰宜を拝命し入会させて頂いたいただきました。何事においても一所懸命に感謝のこころを忘れずに日々の神明奉仕に精進していく所存です。宜しく願い致します。



本牧神社
わたなべしゅんぺい
渡邊俊平

平成四年五月二十七日生まれ。熊本県の社家の出身です。学生の頃は居合道という武道を稽古しておりましたので、武道や武具等に関心があります。また、雅楽では笙を吹いており、上達のために日々稽古に励んでおります。同じ神奈川県、そして同世代の神職の方々と交流できるのがとても楽しみです。まだまだ至らぬ点ばかりではございますが、どうぞ宜しくお願い致します。



鶴岡八幡宮
さかもとまさふみ
坂本尚文

平成四年六月三日生まれ。出身は埼玉で実家は梨園を営んでおり、中学はバスケ、高校・大学ではラグビーをやっていました。映画・スポーツ・ビルが大好きで、感謝・礼儀・思いやりを大切にしています。神青会の隆昌と共に自身の成長に繋がるよう取り組んでいます。と考えています。宜しく願い致します。



鶴岡八幡宮
よしざわあきひろ
吉澤明宏

平成三年八月二十五日生まれ。出身地は福島県南会津です。愛称はむろいちゃん・むろ・むろい、座右の銘は「七転八起」。趣味は散歩、映画鑑賞です。江島神社に奉職させて頂き十月に権禰宜を拝命致しました。未熟者ではありますが何事にも一生懸命に神明奉仕に励んで参る所存です。ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。



江島神社
むろいときまさ
室井常雅

平成六年一月八日生まれ。出身地は神奈川県です。愛称はみずや、みずや。趣味は格闘技・アニメ・漫画です。まだまだ右も左も分からない新人ですが身体を動かすことが好きなので身体を張って頑張っていきたいです。



伊勢山皇大神宮
みずたにゆうや
水谷友哉

宮内庁
神社本庁 神奈川県神社庁・各県神社庁
全国神社・小笠原遠馬両神社法務局

御用達

株式会社 大槻装束店

東京・上野駅前

〒110-0015 東京都台東区東上野3丁目17番9号

電話 03 (3835) 3201 代

FAX 03 (3835) 0617

http://www.ootsuki-shozokuten.com

代表取締役

可児 錠二



トモ工陶業株式会社
株式会社 可児商店

愛知県瀬戸市北瀬町三丁目36番地 〒489-0915
Tel:0561-83-3674(代) Fax:0561-82-4261
E-mail:kanai-co@mtf.biglobe.ne.jp
http://www.tomoetogyo.jp

寄稿

「神道と私」

「これまでの道程とこれから大切なこと」

IT事業推進部 副部長

杉山神社 上野 力

私は新潟で生まれ育ち、実家は神社ではありませんが、小さい頃より近所のお祭りへの参加など、神社とふれあう機会が多く、神道は大変身近で生活の一部となっておりました。

大学は埼玉にあり、獨協大学へ進学し、経済地理学を学び、とくに農業と地理の関係について調べておりました。所属していた研究室が経験主義を重視し、実地調査が中心でしたので、地元の新潟や福島、北海道など色々な地域に赴きました。その際に、農業地域に神社が多く鎮座していることを不思議に思い、神社と地理の関係に興味を持ちました。

また、教職課程を受講していましたが、教育実習では母校の高校にて先生や学生からさまざまなことを教わった経験から、神社もまた学校と同様により多くの人々から学ぶことができる場であると考え、神職を志し、卒業後に國學院大学へ修士入学をいたしました。

神道学科では各種実習に参加しながら神道の基本を学び、また、博物館学などいろいろな勉強ができ、とても充実していましたが、神道についての知識は未だに乏しいと感じ、大学院へと進学いたしました。

大学院では、神社と産業との関係について地理的視点から調査を進め、人々の信仰の根拠がどこにあるのかを研究してまいりました。両者に関係があることは一見当たり前のようですが、具体的にどのようなものであるかは、地域によってかなり異なります。

たとえば、私は栃木県の温泉で有名な那須郡湯本に鎮座する温泉(ゆぜん)神社について研究していたのですが、調べてみますとなかなか複雑なことがわかりました。

すなわち、温泉の神さまに対する信仰は、そこに住み、温泉の恩恵をいただいている人々(主に宿屋を経営する人々)のみにとどまらず、他の地域からの湯治客や那須岳を対象とした山岳信仰の講中、歴史的に見れば、那須余一をはじめ那須氏の氏神としての信仰や、藩政時代には黒羽藩を中心とする近隣の権力者による参詣など、非常に重層的だったのです。神社には、その地域に住む人々の生活のさま、特に生業の種類によって、多様な神さまがお祀りされております。また、神さまの御神徳によっては、他の地域の人々からも崇敬されることが多々見受けられます。

そうした信仰の根本には必ず「感謝」があります。日本の国がさまざまな分野で世界に通じる技術力を有するの、先人が神さまをはじめ、様々な事象に対して「感謝」する心があつたからこそであり、それは今も昔も変わることはありません。また、神社に訪れる人々は、今より少しでもよい未来の為に、神さまにこれまでの感謝とこれからの自らの尽力をお約束し、お願いをされます。

私は、そうした皆さんの笑顔の為に、神道青年会をはじめ、ご縁をいただいているすべての方々、事象に対しての「感謝」の気持ちを忘れずに尽力していきたいと思えます。

不測の不審火 から御社殿をお守りします **ファイヤーレターデント防燃水**

ファイヤーレターデント 防燃水施工 **施工なし**

こんなに遠うってご存知でしたか?

1,300度以上でも 270度に達すると、火は燃え広がらない すぐ1,000度以上!

販売元: コクド環境(株) 120-002 埼玉県川口市中央3-12-22 TEL: 048-241-8255(代) FAX: 048-241-8256

施工元: (有)環境マザーズ

12年連続受賞 DVD配布中

御朱印帳頒布台

新製品

株式会社 民俗工芸

TEL 0120-534-550 FAX 0120-872-550

〒857-1162 長崎県佐世保市卸本町18-1 土曜日も平常通り営業致しております。

民俗工芸オリジナル



植物と神道

桜 サクラ

見渡せば柳桜をこきまぜて都ぞ春の錦なりける

素性法師

この歌は『古今和歌集』にある一首で、春の都の様子を詠んだ歌です。柳と桜が入り乱れた京の街が、春の織りなした錦のようだと言っています。この他にも『古今和歌集』には、数多くサクラに関する歌が詠まれており、古来より春にサクラの花見をしてきた事がうかがえます。

サクラは日本に自生する植物のひとつであり、約五百万年前の地層からも葉の化石が出土しています。そして、サクラの花を愛で見に行くという日本人の習慣は古く、その原点は弥生時代にさかのぼるといわれています。その後、中国文化の伝来と共に花見の代名詞は一時、梅の花となってしまうます。しかしながら平安期に入り、国風文化の隆昌と共に再評価され、今日までサクラの花見が続いています。

さて、花は秋の実りの先触れ、前兆の意味を持つ現象とされており、サクラの『サ』は田の神、あるいは田の神への呼びかけの言葉であり、『クラ』は神の『座』、神の依代と考えられていました。

そもそもサクラを愛でるという花見の習慣は、春に田の神を迎えて秋の豊作を予祝することにあったといわれています。すなわち、秋の収穫が終わると山の上にお帰りになる田の神に、水田耕作の開始に合わせ再び里に下りて来て頂き、満開の頃、酒肴を供えて飲食を共にすることでその年の豊かな稔りを祈ったといわれています。

(広報部 筑波貴嗣)

【参考文献】

「ものと人間の文化史 二 植物民俗」長澤武
財団法人 法政大学出版局 平成十三年十月一日
「古今和歌集の解釈と文法」金田一 京助・橘誠
株式会社 明治書院 昭和二十九年九月十日

創業百有余年

— 伝統の技術を活かした校与品作り —

神奈川県神社庁をはじめ
全国各神社でご利用頂いております。

初穂・守札・木札・金環御守・御朱印帳
交通安全守・彫り木守・その他各種校与品

ご一報いただければカタログ送付致します

株式会社 **丸井紙店** TEL 055-272-0136
FAX 055-272-3966

〒410-3601 山手町西八幡町神明三丁目 東川大6763



祈りのかたちに
京の伝統と真心を込めて

御社寺ならではの御守とオーダーメイドで奉製いたします
色・柄・形などお気遣いにお客様に御満足ください



株式会社 **京都奉製株式会社**

京都本社 東京営業所 仙台営業所 福岡営業所
TEL 0120-164124 (イロヨイニジ主)
ホームページ <http://www.omamori.co.jp>

情に棹させ冠婚葬祭(一)

「冠」―立志―

今日、「冠婚葬祭」という言葉には、何やら固苦しい「きたり」(儀礼)としての観が否めませんが、そこには長い伝統と深い意義とが含まれていることは贅言を要しません。

「冠」とは、かつての武家が行った元服式と同義であり、今日では成人式に該当します。これらの儀礼(「冠婚葬祭」を「四礼」とも称する)は、もともと漢土儒教文化で醸成され成文化されたものであり、宋の時代に朱子が『家礼』を定めたことに多く拠っているとされます。しかし「冠」

については、我が国では奈良時代から平安時代にかけて、独自の慣習として根付いており、詳細は述べられていないものの、『続日本紀』において、皇太子であった聖武天皇が「冠礼」に類する儀式を行っておられることが確認されているようです。幼くして即位された天皇、また武家の棟梁と見込まれる人物が、十歳そこそこの年齢で責任をもつ成人として、自己の覚悟と周囲の懇望のもと行われたのです。これは、男女の別なく「童子からの訣別」、「立志」であり、成人としての責務を課することを含んでいたのでしょう。

江戸時代には、日本的儒学や国学といった思想興隆のなか、若林強斎(『家禮訓蒙疏』など著す)や大和田気求(『大和家礼』)といった人物が、大陸から渡来した人生儀礼について、我が国の風習を踏まえつつ、独自の解釈を施すようになっていきました。特に、「冠」について強斎は「ワキテ冠礼ハ人一生ノナリヲ立ル礼ユエ、重イコト」「コレマデハ子供デ、人道ハ責ラレヌガ、二十ニナレバ身モカタマリ、人倫ヲ盡ス身ユエ、コレカラ成人ト云。」(『家禮冠婚師説』)と述べています。さらに幕末の多難な時期にあつて、橋本

左内は「稚心を去る」と喝破し、吉田松陰は甥の元服に授けるとして、著名な『士規七則』をもって示しました。これらの先学を顕彰される近藤啓吾先生は、先人たちは「四礼」が守られてゐるか守られてゐないかによつて、天下の盛衰を察してゐる。「四礼」が忘却せられ蹂躪せられたところには、秩序もなく平和もなく、ただ暴力の横行するのみの世を見るのである。」と述べておられます。

四礼の端緒としての「冠」は、単に自然生育的な成人を意味するのではなく、一個の人格、責務を有する人間としての「出発」を意味するものであつたことは、深く顧みる必要があるように感じられます。

(広報部 中村聡)

【参考文献】近藤啓吾『四禮の研究―冠婚葬祭儀禮の沿革と意義―』(臨川書店・平成十五年) 伴五十嗣郎全訳注『啓発録』(講談社学術文庫・昭和五十七年) 関西大学東西学術研究所資料集刊二十七―「家礼文献集成 日本篇二」(平成二十五年)

※写真は、若林強斎『家禮訓蒙疏巻之一』(国立国会図書館/デジタルコレクション)の一部。



各種印字・捺品全載・デザイン制作承ります。

にしき
有限会社 西紀

TEL: 072-810-8133

FAX: 0120-71-8135

FAX 24 時間受付

〒576-0034 大阪府交野市天野が原町 4-1-7

Eメール: mytam@chive.ocn.jp

- ・オリジナル手ぬぐい
- ・オリジナルタオル
- ・のぼり旗の製作は
おまかせください!

お気軽にお電話ください

平田屋タオル株式会社

TEL 055-916-2727



お正月向け商品のご案内

福助足袋

お正月に最適な温かい「ネル」がオススメです。

注文は5足から承ります。

品番	商品名	サイズ(単位 cm)	定価
1303	★足袋 (ネル)	22.0～28.0 (0.5 刻み) 29.0～30.0 (1.0 刻み)	1000 円
3303	足袋 (サラシ)	21.5～28.5 (0.5 刻み) 29.0～30.0 (1.0 刻み)	1000 円
3477	足袋 (サラシ)	22.0～28.0 (0.5 刻み) 29.0	600 円



白衣・襦袢(※会オリジナル)

白衣 (8,000 円)

品番	商品名
X 2	夏物(テترون、麻)
X 3	★冬物(ウール)
X 4	合物(ブロード) ※ X 4 のみ 9,000 円
X 5	合物(ポリエステル)

白衣、襦袢共に温かい冬物をご用意しております。

「白衣1枚、襦袢1枚」もしくは「襦袢2枚」から承ります。

白衣サイズ表

(単位 cm)

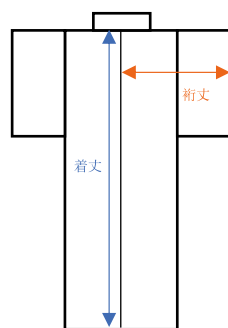
	小寸	中寸	大寸	特大寸	女中寸	女大寸
着丈	130	135	140	145	120	125
裾丈	66.5	68	69	70	65	67

襦袢 (4,000 円)

品番	商品名
S 4	合物(さらし)
S 5	夏物(クレープ)
S 6	★冬物(天竺素材)
S 7	★冬物(ネル)

襦袢サイズ表 (単位 cm)

	M寸	L寸	女寸
着丈	76	82	67
裾丈	65	68	60



事業部イチオシ!

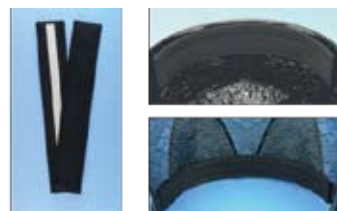
烏帽子用汗取りパッド (5枚入り2,000 円)

東レの抗菌防臭素材セベリスを使用したパッド。

汗や皮脂のべとつき不快感を軽減します。

化粧移りが気になる女性の額当や冠にもオススメです。

サイズ 2.3cm×19.8cm



※額当の幅に合わせカットしております

女性にも
オススメ!

七五三シーズン到来！～境内の彩りに～

朱傘が新しくなりました！

朱傘 32,000 円／朱傘台座 28,000 円



内側は五色の糸で美しく仕上げられています。
傘は持ち運びにも便利な収納袋付き。

その他事業品

その他事業品	定価
鎮物（紙製）※ 10 体以上から承ります	200 円
〃（木製）※ 10 体以上から承ります	600 円
〃（陶器）角型、丸型	1,500 円
お食い初めセット（膳なし）	1,300 円
〃（膳あり）	1,800 円
デザイン神棚（ナチュラルクリア）	25,200 円
〃（ブラウン、レッド）	26,200 円
〃（ホワイト）	30,200 円
国旗セット（縦 71cm、横 89cm、ポール 150cm）	2,000 円
浅沓 小（25cm 以下） 中（25～26cm） 大（26～27cm） 特大（28～29cm）	各 17,000 円

送料、振込手数料は別途ご負担頂きますようお願いいたします。

【お食い初めセット】



膳なし



膳あり



紙製



木製



陶器（角型）



陶器（丸型）

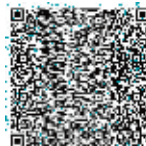
【鎮物】

お申し込み、お問い合わせは F A X 又はメールにて承ります。
F A X の場合は別紙申込用紙をご使用下さい。

〒253-0195 高座郡寒川町宮山 3916（寒川神社内）水谷祐也

Tel : 0467-75-0004 Fax : 0467-75-0071

e-mail: kanagawa_sinseikai_jigyoubu@yahoo.co.jp



注文メール作成に！

野球同好会

上野 力



去る十月六日、一都七県神職野球大会が大井埠頭海浜公園にて開催されました。

我が神奈川県神職野球同好会は、Yチーム・Kチームの二チーム、計二十四名の参加にて試合に臨み、それぞれ準優勝、三位という成績をおさめました。両チームとも優勝した東京都神道青年会チームに敗れたものの、初出場の当会小澤会長をはじめ、皆良く声が出ていて笑顔が絶えず、楽しくプレーすることが出来ました。

フットサル同好会

小泉匡史



その後の潮田神社にての懇親会では、試合を振り返りながら先輩後輩の垣根なく、皆で楽しい時間を過ごしました。大会の運営や写真撮影等にご尽力くださいました茨城県神道青年会をはじめ、関係の皆様へ感謝し、来年こそは優勝を目指し、より良い雰囲気ของทีมを作るよう取り組んで参ります。

【事務局】神明社 石原誠人

〇四五（三四一）六三六五

月に一〜二回、時間は午後七時〜十時の間で二時間程、横浜近辺のフットサル場もしくは体育館を中心に和気藹藹と楽しく体を動かしています。初心者の方も多くど

なたでもご参加いただけます。またお友達と一緒にご参加というのも大歓迎であります！

体育館を貸し切って活動しておりますのでご家族でのご参加もお待ちしております。体を動かす楽しさ、頭を使うトレーニング、フットサルの魅力をぜひ経験しにきてください。

ご質問についてはどんなことでも構いませんので、お気軽にお問い合わせ下さい。皆様のご参加、心よりお待ちしております。

【事務局】八幡大神 小泉匡史

〇四四（五一二）六〇一〇

社殿造営・神棚神具製造

有限 俵田屋

代表取締役 田中良弘



〒1600026
伊勢市宇治浦田二丁目〇ノ三八
電話 〇五九六 二三 三九〇五
FAX 〇五九六 二三 三九〇八

編集後記

会報六十四号発行にあたり

まして、先ずはご多忙の折ご寄稿戴きました八幡大神小泉浩之先輩をはじめ、ご協力戴きました会員の皆様に厚く御礼申し上げます。また、本号発行に際し、企業各社様には多大なるご協賛を賜りましたこと、深く感謝申し上げます。

あらためて今夏を振り返ってみると、全国各地で猛暑に見舞われた近年稀にみる気候でございました。そのような中でも各地の田圃に植えられた稲は青々と力強く育っており、改めて自然の恵みや、それを支えている農家の方々のご尽力に感謝しております。

また、非常に雨の多い年であったことが思い出されます。悲しいことに先般九州北部を襲った豪雨は甚大なる被害をもたらし、今も尚その爪痕を残しております。今回被災された皆様にお見舞い申し上げるとともに、早期の復興が叶いますよう心よりお祈り申し上げます。

新体制発足以降も当会は様々なことに取り組んでまいりましたが、本号では、自然観や生活様式に関する記事を掲載し、新たに学術的見地からのアプローチを試みました。こうした取り組みは、私たちにとって実用的な神道教化へと繋げるための礎となるものであると思っております。

いよいよ七五三詣、そして正月に向けての準備が始まる頃だと思えます。我々若手神職も会で学んだことを生かし、清々しいご奉仕ができるよう努めていきたいと思えます。

（広報部 浦田善史）